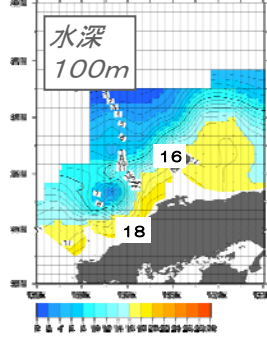
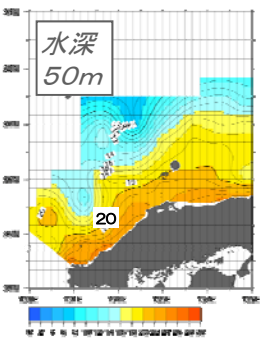


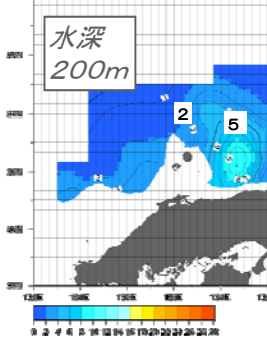
鳥取県沖と隠岐周辺海域は26℃前後で先月より3℃上昇し、平年より1℃弱高めとなっています。



隠岐周辺海域と鳥取県沿岸域では16℃前後で、先月より約1℃上昇しました。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は20℃前後で先月より2℃上昇し、隠岐北西海域で平年より1～5℃低め、鳥取から島根県沿岸では約2℃高めとなっています。



兵庫県沖合、北緯36°00'付近に暖水塊が発達しています。

★水産課からのお知らせ★

大型クラゲ・有害赤潮を発見した場合は水産課に
お知らせください(電話:0857-26-7317)

<<今後の有害赤潮情報にご注意ください!!>>

8月1日付の赤潮注意報発令後、毎日県内各所で赤潮監視調査を行っています。

8月18日現在、鳥取県では、対馬暖流上流域からの来遊が予測されている有害赤潮プランクトン、コクロディニウム・ポリリコイデスの出現は未確認です。

なお、赤潮状態ではありませんが、8月5日に山口県沖、8月6日に島根県隠岐諸島沖で、低密度ながら本種の出現が確認されています。対馬暖流上流域では、依然、本種の有害赤潮が発生(8月17日時点で、約13000細胞/ml)していますのでご注意ください。



<<今後の大型クラゲの出現情報にご注意ください!!>>

【(独法)水産総合研究センターからの大型クラゲの出現と予測に関する情報(8月2日付け)】

1. 大型クラゲの出現状況

日本沿岸海域における大型クラゲの出現状況については、対馬の定置網において7月26日に長崎県壱玉町の定置網で約20個体の入網が確認され、その後、対馬周辺および山口県沖においても確認されています。

2. 大型クラゲ出現予測について

水産センターが大型クラゲモニタリング調査結果を用いて我が国周辺海域への出現予測を行ったところ、韓国東岸を北上して離岸した後、分布を東方に拡げるとともに、その一部は南下して先端部が8月中旬頃には隠岐諸島周辺海域に出現することが予想されました。
※8月12日に鳥取県内での目撃情報がありました。

☆漁師さんと婚活パーティーの開催について☆

■女性との接点が少ない漁業者さんにとっては出会いの場として絶好の機会です。独身漁業者の皆さんはもちろん、30歳以上の独身女性の方のご参加をお待ちしております。

日時: 平成25年9月6日(金) 14:30から受付開始
(漁業者の皆さんはお昼頃に集合)
場所: ホテルモナーク鳥取(鳥取市永楽温泉町)

主催: 鳥取県漁協 ホテルモナーク鳥取

内容: 賢治港で魚釣りを楽しみ、旬の魚を使った料理で会食するなど、漁業者と来場者の皆さんで交流を深めてもらいます。

※お問い合わせ、申し込みについてはホテルモナーク鳥取、県漁協にご連絡ください。



「第2回 水産試験場 海と魚の学習日」を開催!

【日時】9月21日(土) 9時30分～15時 雨天決行

【場所】境港市竹内団地107 水産試験場 駐車場約30台

【内容】ベニズワイの解剖教室(人数制限あり)、チリメンモンスター探し、第一鳥取丸見学、タッチングプール(境港総合技術高校)、干しハタなどの美味しさ試食、スラリアアイス体験など

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。



共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

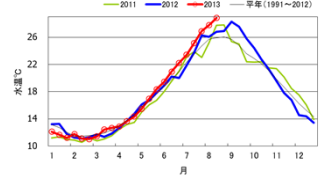
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

鳥取沿岸の水温

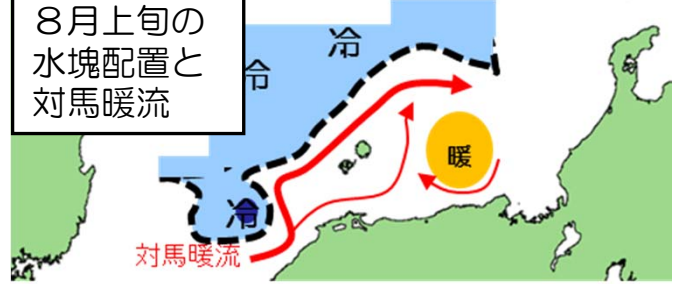
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

8月中旬 28.8℃

平年より2.9℃高め



8月上旬の水塊配置と対馬暖流



- ・島根沖冷水の沿岸への張り出し: 島根沖冷水の張り出しは、隠岐西方海域では離岸、隠岐東方海域では接岸傾向でした。
- ・沖合の対馬暖流: 対馬暖流は島根半島西端から隠岐北方に向かう流れと隠岐海峡を通過する流れに分枝しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

～2013年の大型クラゲの来遊～

- 【これまでの出現状況: 水研センター等】
- 黄海(クラゲ発生海域)での分布密度は前年と同水準(表1)。
- 7月下旬頃、韓国で広範囲に出現。
- 7月下旬～8月初め、対馬海峡西水道を通り日本海へ流入(前年の10倍程度)。
- 対馬暖流第3分枝にのり、その一部が沖合域から、8月後前、鳥取県沖に到達(小底漁船に1～2個体入網)。
- 対馬等の定置網では、その後入網は減少。【現在の状況: 8/22: JAFIC】
- その先端は、但馬、沖合では大和堆付近(図1)。
- 【今後の動向: 8/20: 水研センター】
- 今後、日本沿岸及び沖合水域にどの程度出現するのかが現時点では不明。
- 今後も調査を継続し、出現状況に関する情報提供を行って参ります。

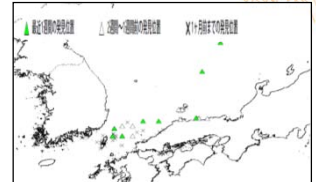


図1 8月26日現在の大型クラゲの出現状況 (JAFIC提供)

表1 黄海等の発生状況(水研センター)

調査船名	場所	7月下旬		8月下旬	
		密度(個/100m)	出現船数(隻/1000)	密度(個/100m)	出現船数(隻/1000)
フェリー「おき」	黄海	0.22	0.25	0.04	0.2
	対馬海峡西水道	0.0088	0.0015	0.0015	0.0023
調査船名	対馬海峡西水道	0.57	0.01	0.0015	0.0023

日本全国的大型クラゲ出現状況及び動向は、以下のホームページで確認できます。

漁業情報サービスセンター: <http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>

日本海区水産研究所: http://jsnri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html

栽培漁業センター

有害赤潮の来遊に備えてください。

鳥取県にも有害赤潮の来遊の恐れがあるため、防除方法について説明します。

防除機材は右表の場所にあります。防除の際は、栽培漁業センターなどで防除支援・指導を行いますので、赤潮を発見された際は、水産課にご連絡ください(電話:0857-26-7317)。なお、来遊に備え、守りたい場所の選定や防除に使用する漁船の準備をお願いします。

地区	保管場所	入束モンモリ	散布用の水中ポンプホース
西部	水産試験場	14袋	4式
	境港水産事務所	新・旧ポンプ小屋	34袋
中部	栽培漁業センター	作業室	30袋
東部	鳥取港事務所	倉庫	30袋

西部: 境港支所～中山支所、中部: 赤碓町漁協～浜村支所、東部: 酒津支所～東支所

～有害赤潮の防除方法～



防除剤(入束モンモリ)※魚介類には有害です。25kgに入っています。

方法1: 生け簀に海水をはりながら、入束モンモリを播き、水中ポンプでまく。
※海水1トンに入束モンモリ1kg程度の割合です。
方法2: 入束モンモリを船のスクルーに直挿投入、かくはんしながら船を走らす。
※入束モンモリ水を作っている時間がない場合の方法。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330